

第5回地域包括ケア実践研究会開催要項

1. 開催趣旨

地域包括ケアシステムの構築を急ぐのは、2025年問題への対応。戦後ベビーブーマーが後期老年層となるその時の日本の高齢者対策が中心課題でした。

「医療・介護・福祉・住居・予防」などの具体的課題のほか、生活支援という基本的な生活の営みが最大課題として語られ、人々の安寧な生活を保持する権利と人の尊厳を守るため、様々な地域での試みや実践がなされています。

当研究会は、「地域包括ケア」の生みの親でもある山口昇氏を顧問とし、「世話人」として全国の実践家有志が手弁当研究会として継続して参りました。これまでの研究会では、制度的な動向や実践の先進事例などを学び検討するという営みを続けてきました。しかし、今、先進事例を垣間見るだけの段階は過ぎたといえます。いよいよ、各地域での人々の生活ニーズに即した必要な支援を全人的視野で実践する時期となっています。

地域包括ケアは、それを深化・推進させる必要が昨年より明らかにされました。「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」が始動し始め、来年度からの介護保険事業に大きな変化をみることとなります。そして、地域医療介護確保法に基づく改革後の姿も見えてきました。さらには、戦後ベビーブーマーの子供たち世代を想定した2035年の保健医療システムの構築に向けての提言も『保健医療2035』策定懇談会から今年6月に発信されました。そうした一連の動向は、様々な分野におけるパラダイム再構築の必要性も多く語られています。

今回の研究会では、「地域包括ケアの深化」とは何を意味するものなのか、百地域百様と言われる中でどのように実践し、実現していくのか。その基本的な論点、制度理解、事業推進に必要な専門性やスキルについて、また、地域共生社会の実現のため、これまでの縦割り制度や職能観の見直し、他人事でない『我が事』として一人ひとりのニーズを知り、共通認識を醸成する地域の人々の力を統合する仕方などの課題を中心としてプログラムを構成しております。「地域包括支援体制づくり」を実践するための住民、行政、専門家、サービス提供事業者や関係者などのワークショップとして、多くの著名な方、著名でなくても日々地域包括ケアシステム構築のために頑張っている現場の方々、一堂にご参画いただき、皆様と共に研究して参りたいと思います。

今後の日本の人々の暮らしを考えていく皆様方のご参加を、広く呼び掛けたいと思います。

2. 主催 地域包括ケア実践研究会 第5回大会 担当幹事 西元 幸雄

3. 後援 一般社団法人日本認知症ケア学会
本研究会は一般社団法人日本認知症ケア学会の「認知症ケア専門士単位：2単位」が認定されます。

4. 期日 10月14日(土) 13:10～10月15日(日) 12:05

5. 場所 四日市プラトンホテル
三重県四日市市西新地7番3号 電話：059-352-0300

11. 内 容

鼎談 (13:10~14:30/80分)

テーマ：「今大会の論点整理について」

地域包括ケアシステムは介護保険制度上に位置付けられており、障害・こども・救貧・住居・ダブルケア・80-50・地域づくり・地域共生社会構築など実践していく時の要素として、相談援助のシステムとしてワンストップ化やそのためのプラットホーム、様々な機関、専門家などのチームカンファレンスやチームアプローチの組織性を誰が統括していくかなどの具体的な実践の仕方から自由なご発言を頂く。

「地域包括ケアの深化」「地域包括支援センター」「地域共生社会の実現」「介護保険の一部改正法」等に係る実践課題からその論点を探る。

白澤 政和 氏 (桜美林大学大学院教授)

中村 秀一 氏 (一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長)

池端 幸彦 氏 (医療法人池慶会理事長)

講演Ⅰ (14:45~15:45/60分)

厚生労働省 老健局 振興課 込山 愛郎 課長

ワークショップ (15:50~17:30/100分)

テーマ：「地域包括ケア実践強化に必要な理念・専門性・スキルとは」

中井 孝之 氏 (一般社団法人シルバーサービス振興会 常務理事)

栗林 孝得 氏 (社会福祉法人雄勝福祉会 常務理事)

下島 礼子 氏 (社会福祉法人弥生福祉会コミュニティソーシャルワーカー)

※会場とのディスカッション

ファシリテーター 丸山 法子 氏 (一般社団法人リエゾン地域福祉研究所 代表理事)

講演Ⅱ (8:45~9:45/60分)

テーマ「地域共生社会の実現の仕方」

厚生労働省 老健局 吉田 一生 氏

シンポジウム(9:55~12:00/125分)

テーマ「コミュニティソーシャルワークの実践から地域包括ケアの深化・推進を探る」

= 課題提起 = 原田 正樹 氏 (日本福祉大学社会福祉学部教授)

青柳 親房 氏 (新潟保健福祉大学教授)

堀尾 栄 氏 (青山里会地域福祉部)

盛谷 一郎 氏 (大島地域包括・在宅介護支援センター協議会会長)

寺本 紀子 氏 (一般社団法人寺本社会福祉士事務所)

ファシリテーター 西元 幸雄 氏 (青山里会 常務理事)

コメンテーター 白澤 政和 氏 (桜美林大学大学院教授)

閉 会 次期開催担当幹事

6. 参加費 6,000 円/1人 (夕食交流会費 6,000円/1人)
 ※ 9月30日(水)までの事前申し込みの場合、参加費は5,000円に
 割引き(早割)といたします。

7. 申込先 JTB 中部 四日市支店

8. 大会事務局 三重県四日市市山田町5500-1 社会福祉法人 青山里会 担当: 落合
 (問い合わせ) 電話: 059-328-2177 FAX: 059-328-2905

9. 日程

【一日目】 10月14日(土)

12:00 12:45 13:10 14:30 14:45 15:45 15:50 17:30 18:15

受付	開 会 挨拶・説明	鼎談 「今大会の論点整理 ついて」 ①中村秀一氏 ②白澤政和氏 ③池端幸彦氏	休 憩	講演I 行政説明 厚生省 老健局振興課 込山愛郎課長	舞台 転換	ワークショップ 「地域包括ケア実践 強化に必要な理念・ 専門性・スキルとは」 ①中井孝之氏 ②栗林幸得氏 ③下島礼子氏 ※会場との ディスカッション ファシリテーター 丸山法子氏	移 動	夕 食 交 流 会
----	---------------------	---	--------	--	----------	---	--------	-----------------------

【二日目】 11月15日(日)

8:00 8:45 9:45 9:55 12:00 12:05

開 場	講演II 「地域共生社会の 実現の仕方」 厚生労働省 吉田一生氏	休 憩	シンポジウム 「コミュニティーソーシャルワークの実践から 地域包括ケアの深化・推進の仕方を探る」 課題提起 原田正樹氏 ①青柳親房氏 ②寺本紀子氏 ③堀尾栄氏 ④盛谷一郎氏 ファシリテーター 西元幸雄氏 コメンテータ 白澤政和氏	閉 会 (次期開催地担当幹事挨拶)
--------	--	--------	---	-------------------------

地域包括ケア実践研究会 幹事・顧問一覧

		氏名	所属
	顧問	堀尾 慎彌	医療法人 社団堀尾会
	顧問	山口 昇	公立みつぎ総合病院名誉院長
1	幹事	落合 将則	社会福祉法人 青山里会 小山田老健 施設長
2	幹事	栗林 孝得	社会福祉法人雄勝福祉会 サン・グリーンゆざわ
3	幹事	坂本 美洋	社会福祉法人 徳望会 理事長
4	幹事	下島 礼子	社会福祉法人 弥生福祉会愛寿苑在宅介護支援センター
5	幹事	渋谷 哲	せいりょう園在宅介護支援センター センター長
6	幹事	白澤 政和	桜美林大学大学院 教授
7	幹事	寺本 紀子	一般財団法人 寺本社会福祉士事務所
8	幹事	中沢 伸	社会福祉法人 川崎聖風福祉会 事業推進部長
9	幹事	中井 孝之	一般社団法人 シルバーサービス振興会 常務理事
10	幹事	西元 幸雄	社会福祉法人 青山里会 常務理事
11	幹事	浜野 修	社会福祉法人 飯田福祉会 理事長
12	幹事	林 芳繁	社会福祉法人 天寿会
13	幹事	原田 重樹	亀山老人保健施設
14	幹事	堀尾 栄	四郷在宅介護サービスセンター管理者
15	幹事	丸山 法子	一般社団法人 リエゾン福祉研究所 代表理事
事務局		〒512-1111 三重県四日市市山田町5500-1 社会福祉法人 青山里会 担当 落合将則	